

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年10月分)

2023年11月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[国政連立与党による会合\(16日、26日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[サラエボ・カントン首相の辞任及びカントン政府の解散\(26日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ドディックRS大統領に対する裁判の開始\(16日\)](#)

●[ドディックRS大統領の家族に対する米国の制裁\(20日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[コムシッチ大統領評議会議長の欧州政治共同体サミット出席\(5日～7日\)](#)

●[クリシュト閣僚評議会議長のベルリン・プロセス首脳会合出席\(16日\)](#)

(2) 二国間関係

●[セルビア系高官のロシア訪問\(11日～13日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[令和3年度草の根無償資金協力事業「ペラギチェボ準診療所救急車及び医療機材整備計画」引渡式\(18日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●国政連立与党による会合(16日、26日)

16日、東サラエボにおいて国政連立与党による第五回会合が実施され、BH裁判所法改正案及び資金洗浄防止法改正案の採択等についての協議が行われ、今後の協議継続の重要性が指摘されたが、特段の合意は行われなかった。

その後、26日にサラエボの閣僚評議会庁舎において引き続き第六回の連立与党会合が実施されたが、BH裁判所法等を筆頭に各陣営の意見が分かれ、合意には至らず、同日に閣議において行われる予定であった裁判所法等の重要法案に係る審議も実施されなかった。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●サラエボ・カントン首相の辞任及びカントン政府の解散(26日)

26日、ウク・サラエボ・カントン首相の辞任がカントン議会において承認され、同時にカントン政府も解散した。本件は、カントン議会において、BHのための党(SBiH)所属議員が離党したことによる党勢の変化を受けたものであり、再度指名されるカントン新政府は、閣僚の交代を伴いつつ、再びウク首相を首班とするものとなる見込み。

イ スルプスカ共和国(RS)

●ドディックRS大統領に対する裁判の開始(16日)

BH検察によるドディックRS大統領及びルキッチRS官報事務所長官への起訴を受け、10月16日にサラエボのBH裁判所において第一回の審理が行われ、ドディックRS大統領が出席した。審理後、ドディックRS大統領は、BHの司法機関は外国にコントロールされ、ムス

リムによる反セルビア系的な、BH憲法に反する動きを取っており、裏で一部西側諸国が政治的な影響を及ぼしているとしつつ、改めてシュミット上級代表の正当性を否定し、米国を批判した。

●ドディックRS大統領の家族に対する米国の制裁(20日)

20日、米国財務省は、ドディックRS大統領の長男及び長女に対する資産凍結等の制裁を発表した。両名及び両名の経営する関連企業がドディックRS大統領の汚職に関与し、同人に対する支援の中心的役割を担っていることが主な理由。

これを受け、RSではドディックRS大統領に対する支持を訴える署名が実施され、コシラツBH副首相兼通商・経済関係大臣(セルビア系)等も署名を行った。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●コムシッチ大統領評議会議長の欧州政治共同体サミット出席(5日～7日)

5日～7日、コムシッチBH大統領評議会議長は、グラナダで実施された欧州政治共同体サミットに出席し、ロシアによるウクライナ侵略を批判したほか、現代における感染症、ヘイトスピーチ、難民、テロ等の問題に言及。さらに、帰国後BH公共放送のインタビューに応じ、クロアチアの影響によりシュミット上級代表もクロアチア系を利するような決定をしているとして、同上級代表及びクロアチアを批判した。

●クリシュト閣僚評議会議長のベルリン・プロセス首脳会合出席(16日)

16日、クリシュト閣僚評議会議長はティラナで実施されたベルリン・プロセス首脳会合に出席した。会合では、西バルカン地域における

看護師・獣医師・薬剤師・助産師資格の相互認証に係る合意への署名が実施された。会合において、クリシュト議長は、BHのEU加盟交渉の早期開始の重要性を強調し、脱炭素化等の取り組みに向けた諸外国の支援及び投資の必要性につき訴えた。

(2) 二国間関係

●セルビア系高官のロシア訪問(11日～13日)

11日～13日、コシャラツBH副首相兼通商・経済関係大臣及びビシュコビッチRS首相がロシアを訪問し、第6回エネルギーウィーク関連行事に出席した。

諸会合においては、ロシアとBHを接続するイースト・コネクション・ガスパイプラインの重要性が強調され、西側諸国による対ロシア制裁が批判された。

ビシュコビッチRS首相と露国営企業との会合においては、BHにおける圧縮天然ガス(CNG)の生産拡大、ガスによる発電所の建設等の事業計画についての意見が交わされた。

●プレンコビッチ・クロアチア首相のBH訪問(19日)

19日、プレンコビッチ・クロアチア首相がBHを訪問し、クリシュトBH閣僚評議会議長と会談を実施した。同首相は会談において、BHの早期EU加盟の実現を希望する旨強調しつつ、移民問題に関する両国警察の協力強化を求めた。また、クロアチアのBH国境付近に位置する放射性廃棄物保管施設「トルゴブスカ・ゴラ」の運用開始を、スロベニアとの合意により2028年以降に遅らせると決定した旨明らかにした。

(3) 日・BH関係

●令和3年度草の根無償資金協力事業「ペラギチェボ準診療所救急車及び医療機材整備計画」引渡式(18日)

18日、杵渚駐BH日本国大使は、令和3年度草の根無償資金協力事業「ペラギチェボ準診療所救急車及び医療機材整備計画」引渡式に出席した。

引渡式では、テシッチ・ペラギチェボ市長より、今般供与された救急車が市の医療向上に役立つとの感謝が表明された。また、式典に於いて、今回の支援を記念し、日本・ペラギチェボの友好の証として桜の植樹が行われた。



(写真:式典の様子)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2023年9月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比0.7%のプラス。また、前年同月比13.3%のマイナス。

●雇用／失業率

2023年8月の失業者登録数は35万316人(うち女性20万5,634人)で、前月比での変化なし。前年同月比で2.8%マイナス。

●平均給与

2023年8月の平均給与(手取り)は1,280 KMで、前年同月比で11.8%のプラス。

●消費者物価数

2023年9月の消費者物価指数は前月比で0.6%のプラス。また、前年同月比で平均4.1%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比で変化なし。

●貿易収支

2023年1月～9月のBHからの輸出総額は126.55億KM(前年同期比6.4%減)、BHへの輸入総額は207.67億KM(前年同期比1.9%減)。貿易収支は81.12億KMの赤字。

(2) 経済政策・公共事業

●西バルカン・デジタル・サミットの開催(5日～6日)

5日～6日、ベルリン・プロセスの枠組みにおいて、西バルカン・デジタル・サミットがサラエボで開催され、西バルカン及びEU各国より500名以上が出席した。BHからはクリシュト閣僚評議会議長およびフォルト運輸・通信大臣が参加し、デジタル化に向けた各国との地域協力、学校等の各機関におけるデジタル化の重要性等を強調した。

(3) 経済協力

●BH中銀総裁等のIMF会合参加(15日)

ソフティッチBH中銀総裁、ボシュニャクBH民生大臣及びフォルトBH通信・運輸大臣は、モロッコ・マラケシュで開催されたIMF年次会合に参加。IMF及び世銀関係者等との会談を複数実施した。会合において、ソフティッチ総裁は単一ユーロ決済圏等に言及しつつ、EU基準への制度の調和の重要性を強調した。IMF及び世銀側からは、BHの改革を強く支持するとの姿勢が示された。

(4) 民間セクター

●鉱物の採掘に対する欧州評議会の懸念表明(17日)

欧州評議会の野生動物と自然生息地の保護に関するベルン条約事務局は、BH中部(BH連邦・ゼニツァ・ドボイ・カントン)バレシュにおけるAdriatic Metals社による鉱物採掘活動について、大気及び土壌の汚染、野生動物への悪影響に関する重大な懸念を表明し、BH当局からの適切なレスポンスがない旨指摘した。BH当局は、2024年のベルン条約事務局会合までに報告書を提出するよう求められている。なお、BHはベルン条約の署名国。